

# 秋田市建都400年記念事業への提言 (実行委員によるアイデア)

平成14年12月10日  
実行委員会事務局

## 1. コア事業のあり方について

行政主導の固いイメージではなく、もっと市民が体感でき親密感を持てるスタイル、市民のパワーが主体的に発揮できるような工夫が必要。

秋田という街の中で時間的・空間的にもイベントが連鎖的に展開していく。この中では、未来を担う若い人達の希望やアイデア溢れたイベントも盛り込み、実行委の企画イベントと民間の企画イベントが巧みに交差しながら進展していく。

〔提案〕

- ・ コアイベントを平成16年度完成の(仮称)拠点センターのオープンの時期(7月)、観光客が集まる竿燈期間(8月)の夏期に集中的かつ多面的に実施する。
  - ・ イベントは、拠点センターや文化会館、県民会館、新県立球場、八橋球技場、通町など屋内外を問わず、市内各地で数珠つなぎのように連鎖的な興奮が沸き起こるように配置する。
- 

## 2. 事業の具体例に関する実行委員からの主な提案

「千秋公園」に関する事業・イベント

- (1) 「都市基幹総合公園」から「史跡記念公園」への指定替え
- (2) 市の「千秋公園整備計画」の一般公開とプログラム化
- (3) 千秋公園の設計者である「長岡安平」の足跡をたどり顕彰する。
- (4) 佐竹義堯像を二の丸に移転し、佐竹義宣像を新たに建立する。
- (5) 佐竹史料館を佐竹歴史資料館へ改名、拡大し、管理・運営機能を統括させる。

「食」に関する事業・イベント

- (1) 佐竹「食」の陣の開催(秋田の食にスポットを当てる)
- (2) 佐竹家の食事を再現した市民の試食会の開催
- (3) 記念酒、記念菓子等の展示・販売
- (4) 秋田食文化研究会の構想と産学官連携の洗い直し

#### 市民参加型事業・イベント

- (1) パレード・ブラスバンド（飯島中、秋田南高、新屋高など）
- (2) ヤートセ踊り（明德小）、インターアクト（和洋高）
- (3) 秋田おばこ踊り（地域婦人団体、新舞踊協会その他）
- (4) マラソン・小学生から成人まで400年リレー
- (5) 綱引き（竿灯大通りや通町を会場とした400年綱引きと和太鼓の演奏）
- (6) 400年記念音楽祭（出来ればその後も継続）

#### 歴史関連事業・イベント

- (1) 大名行列の再現
- (2) 東京・浅草や常陸太田市・日立有縁町村とのコラボレートイベント  
（浅草は、佐竹藩江戸屋敷跡があり、今も佐竹町として親しまれ、県出身も多い。浅草三社祭りの神輿を招待し、あのにぎわいと活力を秋田市民の意欲の向上と若者のパワーアップに結びつける）
- (3) 佐竹家で使用した茶道具の展示（写真やパネルの展示）
- (4) 千秋美術館の企画展開催（博物大名 - 江戸と秋田を結ぶ「秋田蘭画の今日展」）
- (5) 「流転の三十六歌仙」NHK再放送
- (6) 常羽交流事業
- (7) 「平田学サミット」の開催
- (8) 町田忠治と安藤和風の「秋田起し」の手法
- (9) 東海林太郎に関する資料の収集

#### 施設整備関連事業

- (1) 秋田のお宝展示館の整備
- (2) 「秋田蘭画館」建設の構想
- (3) 大収蔵庫の新設（市の所有する文化遺産のインデックス機能をもった原発的機関）
- (4) 「赤れんが郷土館」を「明治・大正館」、「旧金子家」および「ねぶり流し館」を「外町館」として位置づけ整備する。
- (5) 銀線細工や秋田八丈等、伝統工芸品の歴史・工房・作品の整理

#### 都市景観の保存対策事業

- (1) 文化財の登録と公開方法の徹底
- (2) 梵鐘・石碑・彫刻・遺跡等のマップ化
- (3) 街並み保存と活性化  
（寺町・川反・新屋等の再調査や天徳寺を起点とした佐竹太平街道等）
- (4) 文学的高札板の設置
- (5) 市制100周年事業のフォロー（老舗再現等）
- (6) 「旧町名」の復活とマップ作成

#### 記録・刊行物等関連事業

- (1) 秋田の映画・ドラマの制作、全国放送、P R
- (2) 秋田県・秋田市の歴史（佐竹入部以降でも可）教材の作成
- (3) パネルの展示など入部から400年の歴史を分かりやすく説明

#### 未来へ向けた事業・イベント

- (1) 千秋公園で市民総出のこれからの秋田市を見つめようという趣旨のイベントの開催
- (2) 今後100年を見越した形の大膽な都市再生への提言を募る。  
予算や土地などの現実的な制約にとらわれず、夢のある提言を県内外から募ること  
で「温故知新」を具体化することにもつながる。
- (3) 秋田の先人の顕彰と今後の人づくりにつながるイベントの開催
- (4) 市内大学での「秋田学」講座や「郷土学」講座の設置

### 3．雇用と産業につながる提案（将来を見据えた殖産興業に関する提案）

- (1) 秋田市を「農業特区」へ - 都市再生に向けた環境対策と雇用対策について検討 -
- (2) 食糧の自給と安全を目指した「一大田園都市構想」
- (3) 県研究期間・農業法人・株式会社の参入
- (4) 市民市場を「地産地消運動」の拠点にする。

### 4．事業推進に関する提案

- (1) 建都400年記念カラーを秋田市の若草色として統一し、のぼりやワッペン等の掲示について、全市の商店や企業、公共施設等に協力を呼びかけ、15年あたりから市民の関心と意識の高揚をはかる。商店従業員は、胸用ワッペンまたは缶バッジなどを付け、イベントP Rを行う。
- (2) 記念事業へのボランティア参加者の募集を早めに行う。
  - ・小中学生にとっては、総合学習の場でもあり、郷土理解と郷土愛の心を育む絶好の機会となる。
  - ・中高年にとっては、今までの経験を生かし、ふるさとの見直しと目的達成感によるよろこびの場となる。
  - ・女性団体への呼びかけで、みなぎるパワーを活用する。
- (3) 県と市が文化連動できる組織について検討する。